

HARMONY HALL FUKUI



一期

ICHIGOICHIE



演

OFFICIAL GUIDE BOOK

2019.4-2020.3

2

SPECIAL ESSAY

作家 宮下奈都

3 Orchestra

SPECIAL INTERVIEW

指揮者 パーヴォ・ヤルヴィ

エストニア・フェスティバル管弦楽団

SPECIAL INTERVIEW

指揮者 ジャナンドレア・ノセダ

ワシントン・ナショナル交響楽団
さだまさし with オーケストラ・アンサンブル金沢
ロシア国立交響楽団《シンフォニック・カペレ》
ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ
読売日本交響楽団

9 Classic

SPECIAL INTERVIEW

ピアニスト 練木繁夫

徳永二男 / 堤 剛 / 練木繁夫
池辺晋一郎とめぐる「北欧音楽紀行」
イ・ムジチ合奏団
カール＝ハインツ・シュッツ&シャルロッテ・バルツェライト
トリオAXIS

13 Variety

SPECIAL INTERVIEW

ピアニスト 小曾根 真、児玉 桃

小曾根 真&児玉 桃 Special Night
ねこはしる
マンハッタン・ジャズ・クインテット
山田姉妹
ブルガリアン・ヴォイス
岡本知高
シャロン・シャノン&タリスク

17 Original

SPECIAL INTERVIEW

マリンピスト 平岡愛子、山崎智里
ソプラノ歌手 東 園 ピアニスト 大谷研人大谷研人 × 井上雅人
東 園 & 藤田卓也
打 empathy vol.10
若い芽コンサート
「ステージできく」コンサート
福井県新人演奏会
“音楽の森”コンサート

21

SERVICE INFORMATION

ホール、音楽を愛するすべての方にお届けする各種情報

Special Essay

私の森

あるコンサートで、「羊と鋼の森」をもとにプログラムがつくられることになり、原作者の私からのリクエスト曲も入れてもらえることになった。うれしい反面、ちょっと困った。音楽を聴くのは好きだけれど、ただ好きなだけの素人だ。気取った選曲をしたところで、しよせん付け焼刃だろう。音楽家はもとより、耳の肥えたお客さまにはお見通しだと思ふ。それよりは、変に格好をつけず、素直に好きな曲を選ぶことにした。

- ・シヨパン「レントコン・グラン・エスプレッシオーネ」
- ・シヨパン「子犬のワルツ」
- ・シヨパン「幻想即興曲」
- ・ベートーヴェン「月光」

ずいぶん迷い、たくさん候補曲の中からようやく選んだ。きつとみんなが知っている曲ばかりだと思ふ。でも、それぞれの曲ごとに思い出も思い入れもある、大切な曲たちだ。たとえば、「子犬のワルツ」なら、このピアニストがどんな子犬を躍らせるのか、この目で見てみたい、という願望があった。

私もステージの上で、ピアニストのすぐ近くにすわったまま聴かせてもらうことになった。ピアノの傍で聴くことが、音楽的に最上だ

とは限らないことは知っている。ステージの上のピアノの音が一番よく響くのは、客席なのだ。ホールはそのように設計され、調律師はそのように音を合わせ、ピアニストはそのように弾く。それでも、ピアノのすぐ近くで音色を楽しむことができるのは、やっぱり大きなよろこびだった。ピアニストの躍動する背中、音と音の合間の息遣い、ペダルを踏む靴が小さくキュッと鳴らす音……そういう、楽譜にはないものからも、今ここにある音楽のエネルギーを感じることができた。

放心状態で聴いた後、ピアニストがいった。「この四曲には共通点があります。宮下さんはもちろんお気づきでした……よね？」

四曲とも、私の大事な曲たちではある。とはいえ、それは客観的な答えではないだろう。考えていると、ピアニストはにっこり笑った。

「全部、ドのシャープから始まる音階で書かれた曲たちなんです。だから、続けて弾いても、まったく違和感がない。こういう選び方もあるんだなと感心しました」

びっくりした。もちろん、気づいていなかった。無作為に選んだつもりだったのに、いつのまにか私は私の森をつくっていたのかもしれない。そして、そこでうれしく耳を澄ませていたみたいだった。



宮下 奈都 (みやした・なつ)

作家。福井県生まれ。2016年「羊と鋼の森」で第13回本屋大賞受賞。ほかに「スコレNo.4」「誰かが足りない」「神さまたちの遊ぶ庭」など。最新刊は『とりあえずウミガメのスープを仕込もう。』

©堀田芳香

SPECIAL INTERVIEW

指揮者

Paavo Järvi

パーヴォ・ヤルヴィ



© Julia Bayer

オーケストラに
新しい風を吹きこむ

今、「世界で最も活躍している」と言っても過言ではない、指揮者のパーヴォ・ヤルヴィさん。幅広いレパートリーを持ち、カラヤン以後の世代で、「最も録音数が多い」指揮者としても有名です。

2015年9月、NHK交

響楽団の初代首席指揮者に就任。海外ツアーなどを通じてその実力を鮮烈に世界にアピールし、クラシックの本場ヨーロッパにおいても一目置かれる存在に引き上げました。ヤルヴィさんは、就任後のNHK交響楽団の変化について、低音の穏やかな口調でこう語ります。

「もともとすばらしいオーケストラでしたが、より柔軟性が増したように思います。レパートリーにも変化がおきました。シベリウス、バルトーク、武満徹など、北欧、東欧の音楽から現代音楽にまで拡大しています。さらに、エストニアを代表する作曲家であるアルヴォ・ペルトやエリツキス・ヴェン・トゥール

も演奏しています」

音楽を通して

エストニアの文化にふれる

今年4月には、ヤルヴィさん自身が母国・エストニアで創設した「エストニア・フェスティバル管弦楽団」を率いて、そして9月には「NHK交響楽団」を率いて来福。ヤルヴィさん

音楽をつくることは、
仕事ではなく、喜びのため。
その情熱がほとぼしる

©Kaupo Kikkas

の魅力余すところなく体験できる1年です。

エストニア・フェスティバル管弦楽団は、2011年、毎夏開催される「パルヌ音楽祭」のために結成されたオーケストラ。

「世界の有名なソリストたちが、エストニアの音楽家と一緒に作りあげました。仕事としての音楽ではなく、ともに音楽をつくる喜びのために。フェスティバルと名前にもあるように、その機会のためだけに特別に集まる、イベント的なオーケストラなのです」

エストニアの次世代の音楽家たちを育て、世界に羽ばたくための登竜門の機能と、エストニアという国や音楽のすばらしさを世界に伝えていく使命を持ちます。

「エストニアは、小さな国ではありますが、ソビエト時代からリゾート地として有名

です。私が子どもの頃は、夏になるとシオスタコーヴィチが街を歩いているのを見かけていたほど。世界にはすばらしいオーケストラがたくさんありますが、我が国・エストニアにも世界に誇れるオーケストラがあるのだと、日本のみなさんにも知っていただきたいと思います」

ヤルヴィさんが満を持して贈る今回のプログラムのテーマは、「ロシアをめぐる国々」でまとめられました。

「私は、フランスのオーケストラはフランス音楽という限定をしたくありません。エストニアを中心に、ロシアはもちろん、バルト海を挟んで北欧などとも関係があるわけです。ソリストである五嶋みどりさんの希望でプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲を、またエストニアの作曲家の作品もとりあげます」

この機会に、ハーモニホールふくいで聴ける「エストニア・フェスティバル管弦楽団」と、「NHK交響楽団」の違いを聴き比べてみるのも興味深いもの。音楽の世界がワールドワイドに広がります。

Concert Information

4.26 (金) 19:00開演 / 大ホール

協賛 セーレン株式会社

パーヴォ・ヤルヴィ指揮
エストニア・フェスティバル管弦楽団
ヴァイオリン: 五嶋みどり

S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000 バックシート席 ¥6,000

車いす席 ¥10,000 (学生半額)

出演 / 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ、ヴァイオリン: 五嶋みどり、管弦楽: エストニア・フェスティバル管弦楽団

曲目 / シベリウス: 交響詩「フィンランディア」、ペルト: ベンジャミン・ブリテンへの追悼歌

プロコフィエフ: ヴァイオリン協奏曲 第1番、チャイコフスキー: 交響曲 第5番

指揮者パーヴォ・ヤルヴィが自ら創設したオーケストラ「エストニア・フェスティバル管弦楽団」を率い、エストニアと縁の深い国々の音楽を堪能できるプログラムでお届けします。ソリストは、11歳でニューヨーク・フィルハーモニックとの共演でデビューして以来、世界のトップヴァイオリニストとして活躍を続ける五嶋みどり。世界に羽ばたき始めたばかりの楽団の演奏を先駆けて聴けるチャンスです。

パーヴォ・ヤルヴィ
© Zdenek Chrapek五嶋みどり
© T. Greenfield-Sanders

エストニア・フェスティバル管弦楽団 © Kaupo Kikkas

SPECIAL INTERVIEW

指揮者

Gianandrea
Noseda

ジャンアンドレア・ノセダ

人間の歌声が一番繊細な楽器
私は、その豊かな表現力を
このオーケストラに加えていきたい。



2017年にワシントン・ナショナル響の第7代音楽監督に兼任。その他、ロンドン響とイスラエル・フィルの首席客演指揮者、カダケス管の首席指揮者、イタリアのストレーザ音楽祭の芸術監督も務めている。また、2021-22シーズンからチューリッヒ歌劇場の音楽総監督に就任することが決まっており、同世代の指揮者の中でも先頭に立つひとりとして広く認められている。

歌うようなフレージングの
出来るオーケストラに

「このポーズの方がいい？」じゃあ準備するから」

お腹を引っ込める真似をするジャンンドレア・ノセダさん。写真撮影時のヒトコマです。イタリア人らしく茶目つ気たっぷり、と思いきや、「自分は、いわゆるイタリア人のイメージとは違うと思います。両親が厳しく育ててくれたので、イタリアでは時々ドイツ人みたいと言われます」

とはいえ100%イタリア人のノセダさんが、アメリカのオーケストラ「ワシントン・ナショナル交響楽団」の音楽監督に就任して2年になります。

「楽団のレベルが非常に高く、自分たちをもっと高めたいという意欲を感じて、とてもいいスタートを切れています。指揮者と楽団は、お互いを高めあっているという関係にあると思うので、音楽に奉仕するという気持ちと一緒にやっていきたい」

楽団は1931年創立。大統領就任式や独立記念式典でも演

奏する国民的オーケストラです。

「ロストロポーヴィッチ(ロシア人)の情熱、スラットキン(アメリカ人)のリズム感、エッセンバツハ(ドイツ人)の香り高さ、歴代の音楽監督のDNAが、この楽団には積み重なっています。私はここに、さらなる表現力、歌うようなフレージングを加えたいと思っています」

歌劇場の指揮者としても長いキャリアを持つノセダさん。歌の持つ力は偉大だと言います。

「人の声は、最も繊細で表現力に優れた楽器です。ヴァイオリンなどオーケストラの楽器は、声を真似ることから生まれています。オペラをあまりやらないオーケストラが、歌手と仕事をすると、歌と同じように息継ぎをするフレージングを学べます。これはとても大事なことです」

歌の国の人らしい分析です。

米日伊の共演を
オリイブオイルで仕上げる

今回のプログラムではソリストに諏訪内晶子さんを迎えます。

「アメリカのオーケストラが、日本人のソリスト、イタリア人の指揮者と一緒にやるんだ。刺激的でファンタスティック！」

諏訪内さんは、規律正しく自分を律するところは日本人的で、パリの生活が長いからヨーロッパの様式も身につけている素晴らしいアーティスト。共演はとてもうれしい。今回とりあげる3人の作曲家は、歌曲でもいい仕事をしている人たちがばかり。それぞれの香りを、オリイブオイルで(笑)高く立たせるように料理したいと思っていますよ」

最後に音楽との出会いをお聞きしました。

「父親がアマチュアの音楽家で、合唱団の指揮者でした。家にピアノがあって父が弾いていたので、自分もピアノで遊んでいました。字よりも先に楽譜の読み書きを始めたぐらい。だってアルファベットは26個あるけど、音符は7つしかないからね！」

とにっこり。どこまでもチャームングに締められました。

Concert Information

2020. 3.6 (金) 19:00開演/大ホール

協賛 福井新聞社 福井銀行

ジャンンドレア・ノセダ指揮
ワシントン・ナショナル交響楽団
ヴァイオリン: 諏訪内晶子

S席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥10,000

バックシート席 ¥8,000 車いす席 ¥12,000(学生半額)

特別協賛会員 2割引

出演/指揮:ジャンンドレア・ノセダ、ヴァイオリン:諏訪内晶子、管弦楽:ワシントン・ナショナル交響楽団

曲目/バーバー:管弦楽のためのエッセイ 第1番、チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲

ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界から」

<共催:福井テレビ>

諏訪内晶子
© TAKAKI KUMADAジャンンドレア・ノセダ
© Tony Hitchcock

ワシントン・ナショナル交響楽団 © Stefano Pasqualetti

2017年に音楽監督に兼任したジャンンドレア・ノセダが、就任後初めて手掛ける大規模な海外ツアーです。ソリストは、1990年のチャイコフスキー国際コンクールで史上最年少優勝の実績を持つ諏訪内晶子。ヨーロッパを活動の拠点としつつ全世界で活躍する、日本を代表するヴァイオリニストです。ドヴォルザーク「新世界から」、バーバー作品など、アメリカのオーケストラらしい名曲を中心としたプログラムをお届けします。



ジェニファー・ラリー

ヴォルフガング・シュヴァイガー ヴァニシウス・カタール

協賛 FBC

2020. 1.13(月・祝)

15:00開演/大ホール

ニューイヤーコンサート2020 ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 車いす席 ¥5,000 (学生半額)
出演/指揮:ヴァニシウス・カタール、ソプラノ:ジェニファー・ラリー
バリトン:ヴォルフガング・シュヴァイガー、管弦楽:ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ
曲目/ヨハン・シュトラウスII:ワルツ「美しく青きドナウ」、喜歌劇「こうもり」序曲ほか

特別協賛会員・友の会会員 2割引



ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ

ウィーンっ子たちにとっては「これがないと始まらない」という、ニューイヤーコンサートの決定版です。
ハプスブルク家の夏の離宮、シェーンブルン宮殿を本拠地とするオーケストラ。新年の幕開けにふさわしい華やかなワルツやポルカの演奏に洒落ったつぶりの演出も交えながら、観客を存分に楽しませてくれます。
プログラムはシュトラウス2世の「こうもり」「美しく青きドナウ」やロンビの「ジャンパン・ギャロツプ」など、おなじみの曲がずらり。ソプラノとバリトンの華麗な歌声も舞台を彩ります。



ネマニャ・ラドゥロヴィチ

©Benjamin de Dlesbach

山田和樹

©Yoshinori Tsuru

主催 FBC

2020. 2.5(水)

19:00開演/大ホール

山田和樹指揮 読売日本交響楽団 ヴァイオリン:ネマニャ・ラドゥロヴィチ

S席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
バックシート席 ¥4,000 車いす席 ¥7,000 (学生半額)
出演/指揮:山田和樹、ヴァイオリン:ネマニャ・ラドゥロヴィチ、管弦楽:読売日本交響楽団
曲目/マーラー:「花の章」、交響曲 第1番「巨人」、ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲



読売日本交響楽団 ©読売日本交響楽団

NHK交響楽団に比肩する人気・実力を兼ね備えた読売日本交響楽団。次世代の旗手と呼び声高き指揮者、山田和樹と、女性に絶大な人気を誇るヴァイオリニスト、ネマニャ・ラドゥロヴィチという夢のキャスティングで満を持してのハニーホールふくいき初登場です。
ラドゥロヴィチが演奏するハチャトゥリアンの「ヴァイオリン協奏曲」は、「貴公子」「エマニュエル・パユがトゥールーズ・キャピトル国立管と共にフルート版で演奏した(2018年)、超絶技巧の名曲。マーラーの「花の章」は、交響曲第1番「巨人」の一部として書かれたもの(出版時に割愛)。山田マエストロこだわりのプログラムにもご期待ください。



さだまさし



オーケストラ・アンサンブル金沢



渡辺俊幸

協賛 SHINDO

6.25(火)

19:00開演/大ホール

さだまさしwithオーケストラ・アンサンブル金沢 福井公演

全席指定 ¥8,000 車いす席 ¥6,400 (学生半額)
出演/指揮:渡辺俊幸、歌:さだまさし、管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢
曲目/風に立つライオン、精霊流し、いのちの理由、主人公、修二会ほか
<共催:福井テレビ>



幅広い世代に根強いファンを持つ、さだまさしとオーケストラがコラボ。指揮と編曲は、さだのステージに欠かすことのできない作曲家、渡辺俊幸が担当します。
名曲の数々をオーケストラの生演奏とともにお届けする、北陸だけのプログラム。軽快なトークはもちろん、注目したいのは彼が綴る歌詞の世界です。ファン投票不動の第1位「主人公」から人間の悲しさ、寂しさを描いた「精霊流し」、数々のアーティストにカヴァーされる名曲「いのちの理由」まで、さまざまな感情や心の機微をじっくりと噛みしめてください。

協賛 FUKUVI リフォジュール株式会社 アリス化学

7.26(金)

19:00開演/大ホール

ヴァレリー・ポリャンスキー指揮 ロシア国立交響楽団 名曲コンサート

S席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000
バックシート席 ¥4,000 車いす席 ¥8,000 (学生半額)
出演/指揮:ヴァレリー・ポリャンスキー、管弦楽:ロシア国立交響楽団(シンフォニック・カペレ)
曲目/チャイコフスキー:スラヴ行進曲、幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ポロディン:だったん人の踊り、グリムカ:オペラ「ルスランとリュドミラ」序曲ほか
<共催:FBC>

特別協賛会員・友の会会員 2割引



ヴァレリー・ポリャンスキー



ロシア国立交響楽団(シンフォニック・カペレ)

「赤いカラヤン」の異名を持つヴァレリー・ポリャンスキー。ロシア国立交響楽団の音楽監督に就任後、レパートリーを飛躍的に広げた結果、「ロシアで最も優れた楽団」と評されるようになりました。前回の日本ツアーでは、圧巻の演奏を披露し絶賛された楽団が、自国の名作曲家による作品、なんと10曲!を引っ掛けて再来日します。
チャイコフスキー、ポロディンなどの名曲は、耳なじみのあるものばかり。どれも10分前後の演奏時間で初心者にも聴きやすく、ハイレヴェルな演奏はオーケストラファンも満足させてくれます。

SPECIAL INTERVIEW

ピアニスト

Shigeo Neriki

練木 繁夫

考えが違う者同士でも
ともに音楽を享受できれば
人としての魅力も磨かれる。



トリオのメンバーとは赤い糸で結ばれていた!?
「赤い糸を信じるかはさておき、徳永さん、堤さんとは不思議な縁があるんです」

7月5日開催のピアノトリオコンサートの出演者のひとり、練木繁夫さん。3人の出逢いについて尋ねると、頬を綻ばせながら当時は振り返ってできませんでした。

「高校卒業後、憧れのピアニスト、ジェルギー・シエベック先生に教わりたいとインディアナ大学進学を決めたんです。そんな折、彼の盟友だったチェリスト、ヤーノシュ・シュタルケルの来日公演が開催されると知り、会場に駆け付けたんです」

その時のプログラム、チェロ2台のためのコンチェルトでシュタルケルと共にソロを務めたのが堤剛さんでした。演奏後の楽屋に飛び込みで挨拶に行っただけが初対面という、

ります。その時のオーケストラのコンサートマスターがなんと「ツンちゃん」こと徳永二男さんだったというのです。

ピアノ以外の楽器にも興味を持つことが大切

しかし、なぜピアノ科進学を決めたばかりの練木青年がチェロコンサートに興味を持ったのでしょうか?

「小学生の時に習った飯守美絵子先生のおかげです。ピアノは独立した楽器で、ひとりでも弾けるからこそ、他の楽器のことをよく知ることが大切だとの教えでした」

この頃から、先生に勧められたオーケストラやヴァイオリンなど様々なコンサートに行くだけでなく、フルート教室にも通い、歌うこと、呼吸の大切さを学んでいった練木さん。興味の幅が広がっていきました。「後に指揮も習い始め、高校までは指揮者にもなれたら

いなと思っていました。でも、指揮を学ぶ過程でオーケストラ譜をピアノ譜に直して弾くうち、すべてのパートをピアノで弾ける魅力に気付き、専念しようと思ったんです」

水と油の人間同士でも音楽を介してつながれる

ところで、3人の初共演は、1998年、徳永さんが音楽監督を務めるJTアートホール

室内楽シリーズ。練木さんがキャスティングされたことを契機に、堤さんも迎えてトリオ活動がはじまりました。

トリオとして美しい音を奏でられるのは、かくも豊かな音楽経験があつてこそ。

「音楽というものはすごく寛大なんです。水と油の相性の2人が弾いたとしても、音楽がすーっとうまく流してくれる。違う言葉や環境で育った人と

同じ音楽を奏でられるのは本当にすばらしいこと。それを味わうことは人間としての魅力にもつながります。お互いに音楽を愛している人間なら、意見の違いは尊重しないといけない。自分の意見を大事にしながらも相手も尊重すること、そこに介在する音楽がうまく花開けば、それが大切な宝物になるはずですよ」

ボストン響、シカゴ響をはじめとする世界のオーケストラや日本の主要オーケストラと共演。1976年から2006年まで、チェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケルとともに世界各地にて公演。2009年紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに出演。1993年、第24回サントリー音楽賞受賞。元インディアナ大学教授。現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベト音楽大学非常勤講師、サントリー室内楽アカデミー・ファカルティ

Concert Information

7.5(金) 19:00開演/小ホール

至高のピアノトリオ
徳永二男 / 堤 剛 / 練木繁夫
～日本楽壇のレジェンドたち～

全席指定 ¥5,000 ベア券 ¥8,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)

出演/ヴァイオリン:徳永二男、チェロ:堤 剛、ピアノ:練木繁夫

曲目/ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲「大公」、チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出のために」

<主催:NPO法人ふくい子どものための音楽教室>

戦後、日本クラシック音楽界の基礎を築いた先駆者たちの功績を引き継ぎ、その後の発展を中心的に担ってきた巨匠たち。運命によって引き合わされ、旧友、共演者として長年共にしてきた究極のトリオが福井に。格調高くスケールの大きな「大公」、チャイコフスキーが親友の死を悼んで作曲した「偉大な芸術家の思い出のために」と、曲調の異なる2曲をご堪能ください。

協賛 URALA



徳永二男 ©ヒダキトモコ



堤 剛 ©鍋島徳恭



練木繁夫 ©大塚謙治



シャルロット・バルツェライト



カール=ハインツ・シュッツ
©T.Tairadate

協賛 ROYALMA

10.11(金)

19:00開演/小ホール

カール=ハインツ・シュッツ & シャルロット・バルツェライト デュオ・リサイタル

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)

出演/フルート:カール=ハインツ・シュッツ、ハープ:シャルロット・バルツェライト

曲目/ドブラー:ハンガリー田園幻想曲、ドビュッシー:シラクス、ピエルネ:即興奇想曲 ほか



ウィーン国立歌劇場とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務めるカール=ハインツ・シュッツとシャルロット・バルツェライトのリサイタル。フルート&ハープで現在考え得る世界最高のデュオは、2018年6月に日本ツアーが予定されていましたが、バルツェライトのけがで中止に。今回は、仕切り直しの登場です。

現代フルート界きっての名手といわれるシュッツは、ソロや室内楽アンサンブルで世界的に活躍。バルツェライトもNHK交響楽団など国内外のオーケストラに迎えられる名リストです。吹奏楽部などでフルートを学んでいる学生たちにもおすすめのリサイタルです。



池辺晋一郎

協賛 福井 FM FUKUI 福井新聞

4.23(火)

19:00開演/小ホール

風と緑の楽都音楽祭 in ふくい 池辺晋一郎とめぐる「北欧音楽紀行」

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (学生半額)

出演/お話:ピアノ:池辺晋一郎、お話:ソプラノ:石川公美、ヴァイオリン:坂口昌優

ホルン:笠間美美、ピアノ:大竹沙里

曲目/<フィンランド>シベリウス:交響詩「フィンランディア」から

サリネン:「ホルン協奏曲」から「鐘とアリア」

<ノルウェー>グリーグ:「君を愛す」、「春」、劇音楽「ペール・ギュント」から

ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ほか

※60分(休憩なし)プログラム

<企画制作:いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会>



坂口昌優



石川公美



大竹沙里



笠間美美

毎春恒例の「風と緑の楽都音楽祭」のサテライトコンサートです。今年のテーマは「北欧」。厳しい自然の中に育まれた神秘的な音楽の世界。作曲家の池辺晋一郎が、北陸ゆかりの音楽家たちと共に贈ります。

池辺といえば、N響アワーの名司会ぶりをご記憶の方も多いでしょう。クラシック音楽以外にも、映画、ドラマ、演劇などさまざまなジャンルの作曲を手がけ、プロデューサーや指揮者、執筆者としても才能を発揮。2018年度の国の文化功労者に選出されました。駄洒落のセンス抜群の軽妙なおしゃべりもお楽しみに。



佐久間聡一 生野正樹 奥泉貴圭

トリオAXIS

協賛 福井 FM FUKUI 福井テレビ

12.13(金)

19:00開演/小ホール

トリオAXIS デビューリサイタル ピアノ:今川裕代

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)

出演/トリオAXIS(ヴァイオリン:佐久間聡一、ヴィオラ:生野正樹、チェロ:奥泉貴圭)

ピアノ:今川裕代

作曲/笠松泰洋

曲目/J.S.バッハ:「ゴルトベルク変奏曲」から「アリア」、ドホナーニ:弦楽三重奏のためのセレナード

笠松泰洋:新曲(初演)、ブラームス:ピアノ四重奏曲 第1番



今川裕代 ©小坂真

ハーモニーホールふくい「レジデント・カルテット」のヴィオラ奏者として活動してきた生野正樹が、新メンバーで弦楽トリオAXIS(アキシス)を結成しました。もう一度学び直したい、と渡独し、さらにパフォーマンスをあげた生野が、広島交響楽団の第一コンサートマスターを務めるヴァイオリンの佐久間聡一、長年海外で研鑽を積んだチェロの奥泉貴圭と最強のタッグを組んで、新たな音を紡ぎます。

デビューリサイタルに華を添えるのはピアニスト、今川裕代。作曲家、笠松泰洋の新曲も披露されるなど、福井の弦楽・室内楽の展開を予感させます。



イ・ムジチ合奏団



天羽明恵 ©Akira Muto

協賛 FM FUKUI 福井新聞

9.28(土)

15:00開演/大ホール

イ・ムジチ合奏団 ソプラノ:天羽明恵

S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)

出演/演奏:イ・ムジチ合奏団、ソプラノ:天羽明恵

曲目/ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集「四季」

モーツァルト:ディヴェルティメント K.136

ヘンデル:オペラ「ジュリオ・チェーザレ」から「この胸に息のある限り」 ほか

<共催:福井テレビ>



クラシック音楽ファンにとって、イ・ムジチの「四季」は永遠のベストセラー。1952年にローマで結成されたこのアンサンブルが、ヴィヴァルディの「四季」を世界中で愛される名曲に押し上げ、空前のバロック音楽ブームをもたらしました。メンバーの若返りで音に勢いを増しながらも、12人の弦楽器奏者が奏するイタリアの青空のような明るいサウンドは健在です。

10年ぶりの登場となる今回は、ドイツと日本を中心に活躍する天羽明恵が加わり、イ・ムジチ伝統のサウンドにのせて名曲を歌います。この機会をお聞き逃しなく!

協賛 江守商事株式会社

2020.
2.21 (金) 19:00開演 / 小ホール

小曾根 真&児玉 桃 Special Night

全席指定 ¥5,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)
出演 / ピアノ: 小曾根 真、児玉 桃
打楽器: 西岡まり子、大場章裕
曲目 / 小曾根 真、児玉 桃 ソロ・プログラム
バルトーク: 2台のピアノと打楽器のためのソナタ

世界のトップジャズ・ピアニスト、小曾根真と、パリを拠点に国際的な活躍を展開するピアニスト、児玉 桃によるスペシャル企画が実現。メインで、バルトークの「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」を披露します。また、それぞれが贈る「クラシック音楽の名曲」と「エキサイティング・ジャズ」のソロ・ステージも。一夜で3倍楽しめる、最高のステージを繰り広げます。



小曾根 真 ©中村風詩人



児玉 桃 ©Marco Borggreve



西岡まり子



大場章裕

ピアニスト

Makoto Ozono Momo Kodama

小曾根 真・児玉 桃

ジャズとクラシックが共存する空間で
新しい音楽が生まれる瞬間に立ちあう。

2人の個性がひとつになり
生まれてくる音楽の魅力

即興で音楽をつくりながらお客様とコミュニケーションをとる、サーピス精神旺盛な小曾根真さんと、1音1音、常に真摯な気持ちでクラシック音楽向き合っている児玉桃さんでは、音楽のジャンルだけではなく、演奏のスタイルも異なります。

そんな2人の卓越した音楽の才能と感性が出逢い、阿吽の呼吸で紡ぎだされた音色は、まるでミラクル。実は、ともに「日本語と言えば関西弁」という共通項で相性抜群のお2人に、今回のデュオにかける想いを伺いました。

何が起きるかわからないエキサイティングな演奏
「僕がクラシック音楽の世界に入ったのは、クラシックの演奏家たちがどういう風に音を聴いているのかを知りたかったから」という小曾根さん。

最初にデュオでクラシックに挑戦したのは、ジャズ・ピアニストのチック・コリアと。その後、ゴンサロ・ルバルカバとも共演しましたが、ある時、クラシックのピアニストであるベリー・スナイダーとのピアノデュオを経験したことにより、小曾根さんの世界は一変したと言います。

「ジャズ・ピアニストとのデュオでは、演奏する時に同じ景色が見えているんです。でも、クラシックのピアニストとのデュオでは、全然違う景色が見えてくる。どうしてこんなに深い音色が出るんだね(児玉さん)」

小曾根さんとのデュオを体験した後は、クラシックをまた違った目で観られるようになりましてね(児玉さん)

バルトークの魅力が炸裂
2人が紡ぐ音のハーモニー

2020年2月のコンサートでは、バルトークの「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」を選曲したお2人。

「あれだけの複雑な音楽を、桃ちゃんはジャズの色を感じながら、紡いでいかはるんです。2人でハーモニーをつくりだす楽しさは、何ものにも替えられません」と小曾根さん。

「僕がクラシック音楽の世界に入ったのは、クラシックの演奏家たちがどういう風に音を聴いているのかを知りたかったから」という小曾根さん。

「ジャズ・ピアニストとのデュオでは、演奏する時に同じ景色が見えているんです。でも、クラシックのピアニストとのデュオでは、全然違う景色が見えてくる。どうしてこんなに深い音色が出るんだね(児玉さん)」

「演奏する時に一番大切なのは、聴くこと。桃ちゃんは、ものすごく相手の音をきちんと聴きはるんですね。だから、安心してアドリブの冒険ができるんです」

一方、児玉さんも「打楽器のお2人は、ピアノの音を引く立てるように、音の色づけの工夫を豊富に示してくださる。私たち、4人そろって息がぴったりです」と語ります。

小曾根さんが、バルトークの作品をどう料理するのか。児玉さんが、どんなミラクルを生み出すのか。期待を裏切らない、聴きどころ満載のコンサートをご堪能ください。

小曾根 真 (おぞね まこと)

1961年、兵庫県生まれ。ジャズ・ピアニスト。1983年に米CBSと日本人初の専属契約を結び、「OZONE」で世界デビューして以来、多くの作品をリリース。ゲイリー・パートンやチック・コリアら世界のトッププレイヤーとの共演や、クラシックにも取り組み、ソリストとして、国内外の主要オーケストラとの共演も重ねる。2018年、紫綬褒章を受章

児玉 桃 (こだま もも)

1972年、大阪府生まれ。ピアニスト。13歳でパリ国立高等音楽院に入学。16歳で首席卒業。1991年、ミュンヘン国際コンクールでは、最年少の19歳で最高位に輝く。ベルリン・フィル、ボストン響、バイエルン放送響など、世界のトップオーケストラとの共演を重ねる。パリ在住。姉はピアニストの児玉麻里



アンジェリーテ

協賛 江守商事株式会社

10.1 (火)

19:00開演/小ホール

大地に響く魂の声 ブルガリアン・ヴォイス

全席指定 ¥5,000 ヘア券 ¥8,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)
出演/ヴォーカル・アンサンブル:アンジェリーテ
作曲/夢見るトドラ、太鼓を叩く、森が葉を落とす時、メフメティオほか



大自然と、そこに生きる人々のエネルギーがダイレクトに伝わってくる、ブルガリアン・ヴォイス「アンジェリーテ」世界35か国で700回以上の公演を重ね、神々しい歌声が絶賛されています。

ブルガリアン・ヴォイスはロック、ポップス、ゲームミュージックの世界でも多くの作曲家をインスパイアしてきました。日本でも多くのクリエイターたちが注目し、テレビCMでも使用。リオ五輪閉会式で「君が代」が披露された際は、会場が神秘的な空気に包まれました。福井にいなながら「歌の国・ブルガリア」の神髄を堪能していただけます。



協賛 TBS 株式会社タッセイ

8.12 (月・休)

14:00開演/小ホール

ファミリーシアター ねこはしる

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (4歳~大学生:半額)
作/工藤直子「ねこはしる」(童話屋刊) 構成・脚色・演出/桑原裕子
出演/成清正紀、若狭勝也、異儀田夏葉、四浦麻希、多田香織ほか
演奏/うた:花れん、ピアノ:扇谷研人
※上演時間(予定):90分(休憩なし)

<運搬:瑞の国とよはし芸術劇場、春日井市東部市民センター、茨木市市民総合センター、宮崎県立芸術劇場>



桑原裕子 花れん 扇谷研人

原作は工藤直子の名作童話「ねこはしる」。物語に登場するいきものたちが縦横無尽に走り回る。とびだす音楽劇の仕立て。大人はもちろん、小さなお子さんもちまちま物語の世界に引き込まれると各地で評判になった舞台が、さらにヴァージョンアップして福井にやってきました。

のろまでドジだけど気持ちの優しい子猫と池の魚が、移りゆく季節の中で友情を紡ぎ、大人になるための試練を乗り越えて成長していく物語。子ども目線で楽しめ、大人目線で泣け、そして帰る時には、心の中に芽生えた大事な何かに気付くはず。家族そろってご鑑賞になって、感じたことを話し合ってみてはいかがでしょうか。



岡本知高

協賛 福井新聞社

11.14 (木)

19:00開演/大ホール

岡本知高 Concerto del Soprano 2019-2020

全席指定 ¥5,500 車いす席 ¥4,400 (学生半額)
出演/ソプラニスタ:岡本知高ほか
<主催:MIN-ON>

「奇跡の歌声」で聴く者の魂を揺さぶるソプラニスタ、岡本知高が久々に福井にやってきました。

ソチ五輪をはじめ、フィギュアスケート、サッカーJリーグなどの式典で国歌を独唱する姿で、一般にはおなじみですが、コンサートやミュージカルなどの舞台でも大人気。現在最も有名な声楽家のひとりです。

オペラはもちろん誰もが知る歌を交えながら、子どもから大人まで楽しめるステージ構成。心の底まで響く歌声は、人の身体から生み出される音楽の素晴らしさを魅せてくれます。



マンハッタン・ジャズ・クインテット

協賛 技建工業株式会社

9.13 (金)

19:00開演/小ホール

マンハッタン・ジャズ・クインテット 結成35周年記念 ジャパン・ツアー2019

全席指定 ¥5,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)
出演/マンハッタン・ジャズ・クインテット(デビッド・マシューズほか)



デビッド・マシューズを核にニューヨークの超一流ミュージシャンで構成するマンハッタン・ジャズ・クインテットは、日本のジャズ入門者のパイプルの存在として愛され続けてきました。メンバーを入れ替えながら理想のサウンドを追求し続け、今なお人気・実力ともに衰えを知らない「ワン・アンド・オンリー」のグループです。

ステージでは、グラミー賞を2度受賞したマシューズの卓越したアレンジと、凄腕メンバーのアドリブで、ジャズの魅力を表現。マシューズの堪能な日本語MCで、リラックスしながら楽しめます。



シャロン・シャノン

協賛 武生特殊鋼材株式会社 株式会社シャルマン

11.30 (土)

15:00開演/小ホール

ケルティック・クリスマス シャロン・シャノン&タリスク

全席指定 ¥5,000 ヘア券 ¥8,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)
出演/アイルランド伝統音楽:シャロン・シャノン、スコットランド伝統音楽:タリスク



アコーディオンがうねり、フィドルやギターが踊る、ワクワクが止まらないケルト音楽の世界にようこそ！ケルト音楽界で人気・実力ナンバー1の女性アコーディオン奏者シャロン・シャノンと、慧星のごとく現れて各賞を総なめにした、天才コンサーティナ奏者率いる「タリスク」。トッププレイヤーの競演です。

観客も一緒に笑顔になれる、フェスティバルのようなステージ。館内では当日、クリスマスがテーマの雑貨やスイーツなどが並ぶマルシェも開かれます。大切な人と一足早いクリスマスを満喫してください。



タリスク

協賛 福井信用金庫

9.20 (金)

19:00開演/大ホール

山田姉妹 ソプラノデュオ・リサイタル ～懐かしの昭和歌謡からオペラアリアまで～

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ソプラノデュオ:山田姉妹(山田 麗、山田 華)、ピアノ:内門卓也
演奏:トリオAXIS(ヴァイオリン:佐久間聡一、ヴィオラ:生野正樹、チェロ:奥泉貴志)
曲目/翼をください、あなた、小さい秋みつけた、赤とんぼ、故郷
ブッチーニ:オペラ「ジャンニ・スキッキ」から、モーツァルト:オペラ「魔笛」からほか
<共催:FBC>



山田姉妹 (左:山田 麗、右:山田 華)



内門卓也 佐久間聡一 生野正樹 奥泉貴志

双子のソプラノデュオとして、人気急上昇中の山田姉妹。2017年のメジャーデビュー以来、懐かしの歌謡曲や童謡、小学校唱歌などを伸びやかな声で歌い、幅広い年齢層で人気を集め、テレビ出演の機会も増えてきています。

ステージでは、オペラ、アリアも披露。曲中のコミカルな動きやかわいいたくも魅力のひとつです。山田姉妹のデビュー以来、抜群のアレンジセンスで彼女たちのサウンドを支えている、ピアニストの内門卓也に加え、福井公演限定、弦楽トリオも出演します。

SPECIAL INTERVIEW

越のルビー
アーティストKoshino Ruby
Artist

マリニビスト
平岡 愛子・山崎 智里・東園 大谷 研人

多くの皆さんに音楽、室内楽の魅力を感じてもらいたいとスタートした「越のルビー音楽祭」の内容を一新
アーティストの自主的な活動を応援する「越のルビープロジェクト」に生まれ変わります。
今回、企画・出演する4人の越のルビーアーティストに、
意気込みと福井の音楽への想いを語っていただきました。

—それぞれの公演への意気込みを聞かせてください。

大谷 実は僕、第1回「若い芽コンサート」に出演しているんです。そしてもうひとつ、「お話と音楽でつづるコンサート」の初期のステージにも参加させていただきました。その数年

後、「若い芽」「お話でつづる」と「スペシャル・チェンバー・コンサート」の3つが「越のルビー音楽祭」のひとつの形になったと伺っています。そして今回、リニューアルした「越のルビープロジェクト」にも初回から携われることになって、本当に光栄に思っています。個人的なことですが、若い芽コン

サートに出た時にはすでに留学していたので、福井で演奏させていただく時はいつも「お邪魔して」という感覚でした。今回は自分が紹介するアーティストと企画を練って、一緒に出演できるのでワクワクしています。

東 私は、越のルビーアーティストをオーディションで選考する制度が設けられた最初の年に採用された、第1期生なんです。熊本から福井に来て活動の場を模索する中で、県の音楽コンクールに出て賞をいただいたりもしたのですが、このオーディションのことを知って、「これはチャンスだ！」と。

慌ててそれまでの出演パンフレットやチラシなどをまとめて、メ

切ギリギリに事務所に駆け込んだんです。このオーディションがきっかけとなって、福井での活動の場が増え、今回の企画に繋がっているのでも、とても感慨深いです。
平岡 2011年に山崎さんと「Pulse Du(パルス・ドウ)」を組み、「打 empathy(エン

—皆さんの目標や、福井の音楽への想い、メッセージなどを聞かせてください。

東 オペラの楽しさを子どもたちにも体験してもらおう企画をやりたいですね。バレエを習っている子どもも出演できるし、他にもいろんな試みができると思います。興味を持ってもらうには、早い時期に本物に触れることが一番だと思いますから。

平岡 私は音大を卒業しましたが、演奏家になるのは無理だしマリリンバをつくっていません。でも仕事をしながら演奏依頼を受けているうちに、「やっぱり演奏家として頑張りたい！」と思うようになって。社長に話したところ、「その時がきたか」と快く送り出してくれました。こうした応援に感謝するために、演奏活動はもちろ

ん、打楽器のすそ野を広げる使命があると思っています。
山崎 私は中学は運動部で、高校の吹奏楽部から打楽器を始

めたのですが、何度も挫折しうになりながらも「負けたくない！」と努力

して、打楽器アンサンブルの全国大会で金賞を取りました。大学は教育学部

の音楽科に進み、大学院時代は平岡先輩からの紹介で演奏の仕事もいただきました。本当に、人間力がきっかけでどう転ぶかわかりません。福井の打楽器人口は少なく発表の場も限られているので、若手に少しでも演奏の機会を提供したいねと2人で話しています。

大谷 本当の意味で福井に音楽文化を根付かせるために、幅広い世代の人々がプロと共演する機会をつくるのはよいこと。技術だけでなく、コンサートを開くためには裏で色々な苦労があることもわかります。すると観客としての見方も違ってくるし、それこそ本当の意味で後進の指導になるのかなと思います。



越のルビーアーティストは、ハーモニーホールふくいがオーディションなどで選定した、県内在住または出身のプロ演奏家。要望に応じて、企業や学校、施設での演奏者を紹介している。

大谷 研人 (おおたに-けんと)
ベルリン国立音楽大学を首席で卒業。第16回大阪国際音楽コンクールにて、グランプリおよび各賞を受賞。福井、ベルリンをはじめとして、ドイツ国内、パリ、ウィーン等でコンサートに出演。16年間の留学生生活を終え、2018年夏に完全帰国。現在、日本を拠点に活動中。福井市出身、東京都在住



東園 ひがし-その
2001年から音楽活動を本格的に始動。2006年オペラ・デビューし、「魔笛」「カルメン」「ヘンゼルとグレーテル」「リゴレット」などに出演。「椿姫」ではヒロインのヴィオレッタ役を好演。福井県音楽コンクール声楽部門県知事賞受賞。宮崎県出身、福井市在住

山崎 智里 (やまざき-ちさと)
愛知県立芸術大学大学院音楽学部打楽器専攻首席修了。第1回中部打楽器新人演奏会第1位。2006年 Marimba International Competition in Linzセミ・ファイナル出場。平成21年度げんでん芸術新人賞受賞。平成27年度福井県文化奨励賞受賞。南越前町出身、福井市在住





森岡瑞貴 満月里久都 谷川美翔



松谷由美 荒井亮子 ©M.Miyamoto 笠川恵 ©Andreas Etter 荒井結

フェスティバル・カルテット

共催 福井新聞社

7.23(火)

19:00開演/小ホール

若い芽コンサート2019

全席自由 ¥1,000 車いす席 ¥800 (学生半額)
出演/ピアノ:森岡瑞貴、満月里久都、クラリネット:谷川美翔
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子、ヴィオラ:笠川恵、チェロ:荒井結)
構成/第1部:ソロ・ステージ 第2部:弦楽四重奏との共演ステージ

音楽を学ぶ福井の中学生、高校生とプロの演奏家が共演する、若手育成コンサート。2月の公開オーディションで選ばれた出演者たちが、日頃の練習の成果を披露します。
これまで出演したメンバーの中には、福井ゆかりの演奏家「越のルビーアーティスト」として国内外で活躍する人材も多く、未来の音楽シーンを担う若手演奏家を発掘できる楽しみもありです。
共演するフェスティバル・カルテットは福井出身の弦楽器奏者たち。後輩との共演を楽しみながら、全力でサポートします。



土崎 譲 竹沢友里



町 英和 吉田珠代

協賛 日華化学

11.10(日)

2回公演 ①11:00開演 ②14:00開演/大ホールステージ

秋の子ども音楽会 「ステージできく」コンサート(仮題)

ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000 (0歳~高校生:半額)
出演/ピアノ、プロデュース:竹沢友里、ソプラノ:吉田珠代
テノール:土崎 譲、バリトン:町 英和
制作補助/ママさんディレクターズ
※50分(休憩なし)プログラム

子育て中のアーティストがプロデュースする、0歳児から鑑賞できる毎年人気のコンサート。7年目となる今回は、福井市在住のピアニスト、竹沢友里が務めます。
ソリストだけではなく伴奏者としても活躍する竹沢。その竹沢が伴奏を務める機会も多い吉田珠代(鯖江市出身)ら活躍中の歌手3人が、今回のゲストです。間近で聴く子どもたちにとってはどう響くでしょうか。
立ったりぐずったりした場合は、スタッフが対応してくれるので安心。「小さい子がいるから」とコンサートから遠ざかっている皆さんにおすすめてです。

協賛 (公財)けんでんふれあい福井財団

2020. 3.22(日)

14:00開演/小ホール

福井県新人演奏会2020

全席自由 ¥500(学生・車いす席:割引なし)
出演/オーディション合格者(ピアノ、器楽、作曲、声楽の各部門)

協賛 福井ケーブルテレビ株式会社 びがいケーブルテレビ株式会社

2020. 3.28(土)

15:00開演/小ホール

ジュニアが輝く! “音楽の森”コンサート2020

全席自由 ¥500 3歳~高校生・車いす席 ¥100
出演/指揮:清水麗輝
演奏:2019年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生



井上雅人



大谷研人

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

5.17(金)

19:00開演/小ホール

大谷研人×井上雅人 ジョイントリサイタル2019

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ピアノ:大谷研人、バリトン:井上雅人
曲目/バルトーク:ルーマニア舞曲、シューベルト:音楽に寄せて
ビゼー:オペラ「カルメン」から「闘牛士の歌」、シューベルト:歌曲集「冬の旅」から「菩提樹」ほか

昨年ドイツから帰国したピアニスト、大谷研人。待望の凱旋公演は、バリトン、井上雅人との共演でお届けします。
幼少の頃からドイツ、ハンガリーで研鑽を積み、ヨーロッパの音楽を肌で知る大谷と、日本では数少ないフィンランド歌曲に取り組み井上。それぞれの得意分野を生かしながら北、東、西ヨーロッパをピアノと歌で綴ります。
ステージでは、親交の深い2人の息の合ったトークも聞きどころ。リラックした雰囲気の中で、ヨーロッパ音楽の世界を繰り広げてくれます。



藤田卓也



東園

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

6.15(土)

15:00開演/小ホール

ソプラノ 東園&テノール 藤田卓也 ジョイントコンサート

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ソプラノ:東園、テノール:藤田卓也、ピアノ:谷口佳奈香
曲目/ヴェルディ:オペラ「アイーダ」から「清きアイーダ」、「勝ちて帰れ」、「凱旋行進曲」
バーンスタイン:ミュージカル「ウエスト・サイド物語」から「トゥナイト」
プッチーニ:オペラ「トゥーランドット」から「誰も寝てはならぬ」ほか

福井での活躍の場を着々と広げるソプラノ歌手、東園と円熟のテノール歌手、藤田卓也。熊本の団体で共演歴のある2人は、2018年4月、ハーモニーホールふくいにて久々に同じステージに。藤田は7月にも「オペラへの誘い」に出演しており、その歌声に魅了された方も多くはいます。
プログラムはオペラ「アイーダ」から名曲の数々を紹介するほか、聞きなじみのあるオペラ・アリアやミュージカルなどヴァリエーション豊かな「年節的に、今が一番いい状態では」と話す2人。越のルビーアーティスト、谷口佳奈香のピアノと共にお願いします。



谷口佳奈香

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

10.6(日)

15:00開演/小ホール

打 empathy vol.10 ~リターンズ~

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/打楽器、マリンバ:Pulse Du(平岡愛子、山崎智里)
ピアノ:大宅さおり、タップダンス:浦上雄次、群青
曲目/サミュ:カレイデュオスコープ、ハチャトゥリアン:バレエ組曲「ガイーン」ほか



Pulse Du (左:平岡愛子、右:山崎智里)



大宅さおり ©K.Vermeire



浦上雄次



群青

2011年にコンビを組み活動を開始した「Empathy」(パルス・ドウ)。県内のさまざまな会場で打楽器の魅力伝えてきた2人が、コンサート10回目という節目に、「再出発」の想いを込めて、出発点となったハーモニーホールふくいに戻ってきました。
息のあったデュオ演奏、同じく越のルビーアーティストの大宅さおりとの共演のほか、タップダンス 浦上雄次と群青を迎えて、目と耳で楽しめる躍動感あふれるステージを披露します。ピアノ、タップダンスとのコラボも、見ごたえ十分です。

ご入会でおトクに

◎会員制度

(公財) 福井県文化振興事業団では、下記の会員制度を設け、随時募集しております。

■特別協賛会員

主催事業の目的にご賛同・ご支援いただける方々が対象です。会員期間はご入会の日から1年後の月末迄で、個人会員の年会費は一口につき50,000円です。
※法人協賛会員、冠協賛会員の制度もございます。

特典

- ご芳名掲載
- チケット優先予約 (一般・プレイガイド発売日の4日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入 (枚数制限無)
- チケット引換券のご提供 (ご協賛金額の1/4相当分または広告掲載)

■ふくい文化友の会

年会費3,000円で、どなたでもご入会いただけます。

特典

- チケット優先予約 (一般・プレイガイド発売日の3日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入 (各公演2枚まで)

共通特典 ●情報誌『季刊ブンカ』の送付 ●文化施設等の見学ツアーへの参加

◎平日午後のおトクな企画「ハーモニー ブンカさろん」

芸術文化や食にふれたいだけの特別企画。文化にまつわるお話しと演奏をお聴きいただいた後は、コーヒータイムで話題の輪が広がります!

< 料金 > 全席自由 2,000円 (スイーツ付は限定100枚*)
*スイーツ付チケットの購入枚数はお一人様2枚まで
< 発売日 > 各公演の2ヶ月前の他公演発売日と同日(予定)



【第15回】～名曲の宝庫 ロシア～

日程 4月16日(火) 13:30開演
出演者 お話/室田尚子(音楽評論家) 演奏/井上雅人(バリトン歌手)、大谷研人(ピアニスト)

【第16回】～職人の街 イタリア～

日程 6月11日(火) 13:30開演
出演者 お話/松田亜有子(音楽プロデューサー) 演奏/セルジヨ・バイエッタ(ピアニスト)

【第17回】～ニューワールド アメリカ～

日程 12月16日(月) 13:30開演
出演者 お話/原田慶太楼(指揮者) 演奏/佐々木賢二(チェリスト)

2018年の公演から

公共交通のご利用でおトクに

フレンドリーアート号

嶺南地域から「ハーモニーホールふくい」に來場される方々の利便性を図るため、嶺南地域の各市町を経由する無料送迎バスを運行しています。

【お問い合わせ・お申し込み】

福井県 観光営業部 文化振興課
TEL.0776-20-0582

該当公演は、P.3～8で紹介



電車割引 (全ての公演が対象です)

「ハーモニーホールふくい」沿線走る福井鉄道福武線を利用してコンサートにお越しの方は、ご乗車当日の公演チケットを駅員又は乗務員に提示することにより、どの駅からでも片道大人200円、子ども100円の割引運賃でご乗車できます。



コンサートへのご来場でおトクに

和装de割引

来日アーティストを迎えて開催する公演に、和装でご来場された方には、次回以降のコンサートにご利用いただける500円割引券を進呈します。

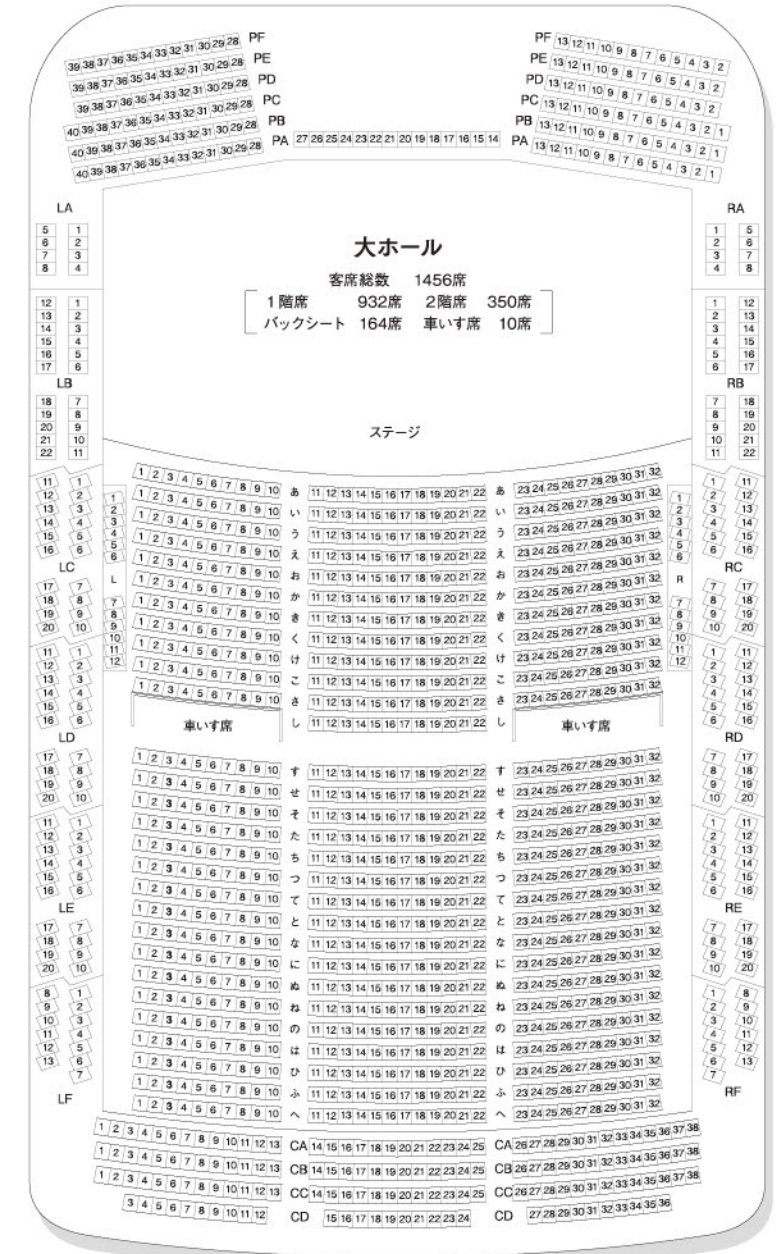
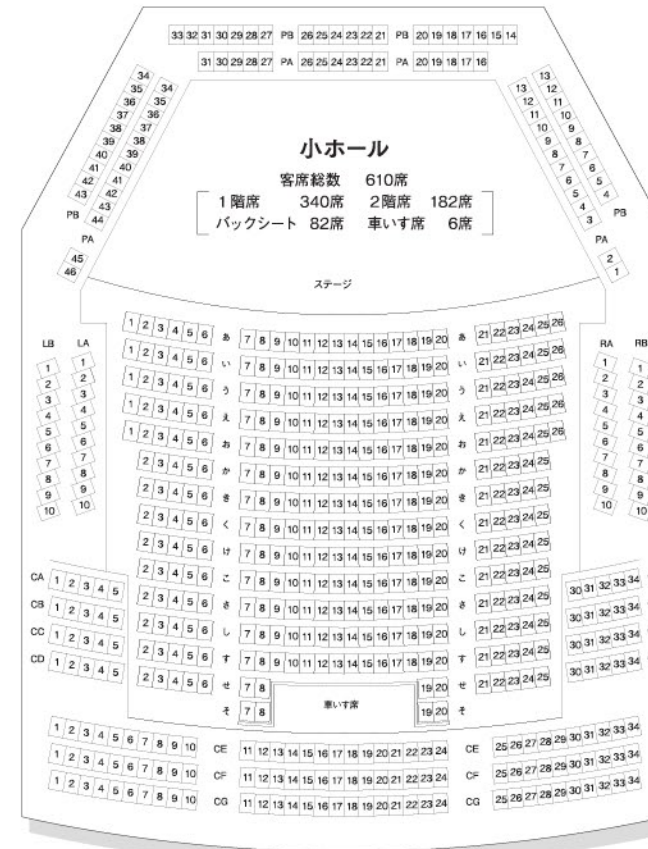


該当公演は、P.3～16で紹介

ホールのご案内

大ホールは、重厚な音響空間が魅力。パイプオルガンを中央に備え、シャンデリアや木製の温かみのある内装に彩られたシューボックス型のホールです。

小ホールは、出演者との距離が近く、気軽に音楽を親しめるミニアリーナ型です。発表会、リサイタルから小オペラまで、さまざまなステージをお楽しみいただけます。



来場 de チャンス

公演に來場された方に
抽選でお食事券をプレゼント!

ハーモニーホール 数地内レストラン Grand-chef KÛZÊ クラフツィフ クラマー

お食事券 5,000円分

当選者数: 大ホール公演3人、小ホール公演2人

- 抽選方法
ご来場時にもぎったチケットの半券を用いて、各公演終了後に抽選します。
- 当選発表・お食事券お渡し方法
当選座席番号は公式ウェブサイト上で発表します。
当ホールでチケットをご購入のお客様、ならびに、自由席チケット裏面の半券部分にご連絡先を記入いただいたお客様が当選された場合には、電話連絡を差しあげたうえで、郵送します。
プレイガイドでご購入のお客様が当選された場合は、当選チケットの半券を当ホールまでお持ちください。



*ご記入いただいた個人情報は、本抽選以外には使用しません。

インターネット・チケットサービスのご案内



「ハーモニーホールふくい」主催公演のチケットは
365日24時間いつでも購入OK!

- 登録** 無料でオンライン登録
登録はこちらから
- 申込** 座席を選択して申込
- 支払** クレジットカードで支払
※他の決済手段はご利用になれません。
- 受取** 郵送(※)もしくはセブン-イレブンで受取
※決済完了後、3日以内に発送します。

CONCERT INFORMATION

2019.4 - 2020.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

一般・プレイガイド発売日 2月23日(土)

4.23(火) 風と緑の楽都音楽祭 in ふくい
19:00開演 池辺晋一郎とめぐる「北欧音楽紀行」

4.26(金) パーヴォ・ヤルヴィ指揮
19:00開演 エストニア・フェスティバル管弦楽団
ヴァイオリン:五嶋みどり

5.17(金) 大谷研人×井上雅人
19:00開演 ジョイントリサイタル2019

一般・プレイガイド発売日 3月16日(土)

6.15(土) ソプラノ 東 園 & テノール 藤田卓也
15:00開演 ジョイントコンサート

6.25(火) さだまさし
19:00開演 withオーケストラ・アンサンブル金沢
福井公演

一般・プレイガイド発売日 4月20日(土)

7.5(金) 至高のピアノトリオ
19:00開演 徳永二男 / 堤 剛 / 練木繁夫
~日本楽壇のレジェンドたち~

7.23(火) 若い芽コンサート2019
19:00開演

7.26(金) ヴァレリー・ボリャンスキー指揮
19:00開演 ロシア国立交響楽団 名曲コンサート

一般・プレイガイド発売日 5月25日(土)

8.12(月・休) ファミリーシアター
14:00開演 ねこはしる

一般・プレイガイド発売日 6月15日(土)

9.13(金) マンハッタン・ジャズ・クインテット
19:00開演 結成35周年記念 ジャパン・ツアー2019

9.20(金) 山田姉妹 ソプラノデュオ・リサイタル
19:00開演 ~懐かしの昭和歌謡からオペラアリアまで~

9.28(土) イ・ムジチ合奏団
15:00開演 ソプラノ:天羽明恵

一般・プレイガイド発売日 7月20日(土)

10.1(火) 大地に響く魂の声
19:00開演 ブルガリアン・ヴォイス

10.6(日) 打 empathy vol.10
15:00開演 ~リターンズ~

10.11(金) カール=ハインツ・シュツツ&シャルロット・バルツェライト
19:00開演 デュオ・リサイタル

一般・プレイガイド発売日 8月24日(土)

11.10(日) 秋の子ども音楽会
11:00, 14:00開演 「ステージできく」コンサート(仮題)

11.14(木) 岡本知高
19:00開演 Concerto del Soprano 2019-2020

11.30(土) ケルティック・クリスマス
15:00開演 シヤロン・シヤノン&タリスク

一般・プレイガイド発売日 9月21日(土)

12.13(金) トリオAXIS デビューリサイタル
19:00開演 ピアノ:今川裕代

一般・プレイガイド発売日 10月26日(土)

1.13(月・祝) ニューイヤーコンサート2020
15:00開演 ウィーン・シエーンブルン宮殿オーケストラ

一般・プレイガイド発売日 11月23日(土)

2.5(水) 山田和樹指揮
19:00開演 読売日本交響楽団
ヴァイオリン:ネマニャ・ラドウロヴィチ

2.21(金) 小曽根 真&児玉 桃
19:00開演 Special Night

一般・プレイガイド発売日 12月21日(土)

3.6(金) ジャンアンドレア・ノセダ指揮
19:00開演 ワシントン・ナショナル交響楽団
ヴァイオリン:諏訪内晶子

一般・プレイガイド発売日 1月25日(土)

3.22(日) 福井県新人演奏会2020
14:00開演

3.28(土) ジュニアが輝く!
15:00開演 "音楽の森"コンサート2020

※各種発売日は下記の通りです。

特別協賛会員先行:一般発売の4日前

友の会会員先行:一般発売の3日前

会員先行ネット販売:一般発売の2日前

一般発売日:上記に記載

一般ネット販売:一般発売の翌日

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。

※公演情報は2019年2月5日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ハーモニーホールふくい

チケットのご予約・お問い合わせ

ハーモニーホールふくいチケットセンター

TEL.0776-38-8282 [10:00~17:00]

プレイガイド

ベル、パリオ、エルバ、武生薬市(※)、アル・プラザ鯖江、ヴィオ、サン・プラザ
創楽堂小浜店・敦賀店 ※越前市は、武生薬市に集約させていただきます。



ホームページ <https://www.hhf.jp/>

